

あさ・吉・夜・話

■ 其の二

－ 天保山 －



大阪城天守閣蔵

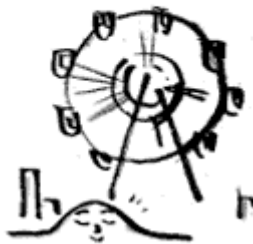
どうもこんにちは、桂あさ吉です。
今回のテーマは「天保山(てんぽうざん)」。
天保山と言えば、標高4.5メートルの日本一低い山で知られていますが、安治川を浚渫(しゅんせつ)した土砂を積み上げて作った人工の山やそうです。それでは、しばらくの間おつきあい願います。

父　－よーし、明日の休みは家族で出かけよう！みんなはどこに行きたい？

母　－お母さんは海に行きたいわあ。

息子－僕は山に行きたい！

娘　－私は遊園地がいい。



父　－みんなバラバラやなあ…うーん。よし、それじゃあ天保山に行こう。あそこには山もあるし、『海遊館』があるから海も味わえる、おまけに、遊園地顔負けの大きな観覧車がある。

みんな－賛成！

父　－どうや、今日はみんな楽しかったか？

息子－すごい楽しかった。でも、僕一つだけびっくりしたことがあんな。

父　－びっくりしたこと？ああ、海遊館のジンベエザメか？

息子－違うねん。

父　－ほな、観覧車の大きさにびっくりしたんか？

息子－違う。

父　－じゃあ何や？

息子－びっくりしたわ。
だって、観覧車より小さい山って初めて見たもん。

おあとがよろしいようで。